

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第22期（決算日2025年11月18日）

作成対象期間（2024年11月19日～2025年11月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	Aコース	Bコース
信託期間	追加型投信／内外／株式 2003年11月19日から2028年11月20日までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査・評価して投資銘柄を選定します。	
主な投資対象	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とします。
分配方針	マザーファンド	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額				参考指數 ナシダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円ヘッジベース)	株組入比率	株先物比率	純資産額
	税分	込分配	み金	期騰落率				
18期(2021年11月18日)	円 24,150		円 1,200	% △3.7	55,701.08	9.4	97.2	% —
19期(2022年11月18日)	18,903		950	△17.8	48,434.99	△13.0	92.8	— 14,407
20期(2023年11月20日)	15,794		500	△13.8	41,521.53	△14.3	95.0	— 9,740
21期(2024年11月18日)	17,967		700	18.2	45,958.71	10.7	95.0	— 7,754
22期(2025年11月18日)	22,464		1,100	31.2	56,211.39	22.3	98.8	— 7,722

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指數（＝ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円ヘッジベース））は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数（US\$ベース）を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものであります。
 (出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指數 ナシダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円ヘッジベース)	株組入比率	株先物比率
	騰落率	率			
(期首) 2024年11月18日	円 17,967	% —	45,958.71	% —	% 95.0
11月末	19,205	6.9	48,503.45	5.5	93.6
12月末	17,508	△2.6	45,305.83	△1.4	97.4
2025年1月末	18,280	1.7	47,117.76	2.5	97.3
2月末	17,012	△5.3	46,095.69	0.3	96.6
3月末	16,538	△8.0	44,650.29	△2.8	96.5
4月末	16,026	△10.8	43,124.67	△6.2	95.0
5月末	15,609	△13.1	42,806.22	△6.9	96.9
6月末	16,297	△9.3	43,227.53	△5.9	96.4
7月末	17,622	△1.9	45,841.43	△0.3	98.7
8月末	18,546	3.2	47,645.79	3.7	97.1
9月末	20,182	12.3	49,014.07	6.6	98.0
10月末	22,343	24.4	53,616.08	16.7	98.5
(期末) 2025年11月18日	23,564	31.2	56,211.39	22.3	98.8

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額				参考指數 ナシダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円換算ベース)	株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	税分	込分配	み金	期騰落率				
18期(2021年11月18日)	円 29,212	円 1,500	% 5.9	78,848.40	% 20.6	% 97.2	% —	百万円 24,916
19期(2022年11月18日)	円 28,491	円 1,400	% 2.3	85,609.91	% 8.6	% 93.5	% —	22,062
20期(2023年11月20日)	円 26,405	円 1,300	% △ 2.8	82,790.34	% △ 3.3	% 95.4	% —	16,381
21期(2024年11月18日)	円 32,433	円 1,500	% 28.5	99,644.68	% 20.4	% 96.2	% —	17,233
22期(2025年11月18日)	円 42,436	円 2,050	% 37.2	127,944.65	% 28.4	% 97.4	% —	18,221

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指數（＝ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース））は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数（US\$ベース）を当社が独自に円換算したものです。
 (出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指數 ナシダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円換算ベース)	株式組入比率	株式先物比率
	騰	落	率		
(期首) 2024年11月18日	円 32,433	% —	99,644.68	% —	% 96.2
11月末	33,925	% 4.6	102,850.07	% 3.2	% 96.1
12月末	32,508	% 0.2	101,234.36	% 1.6	% 96.1
2025年1月末	33,289	% 2.6	103,191.58	% 3.6	% 98.0
2月末	30,100	% △ 7.2	98,178.42	% △ 1.5	% 97.2
3月末	29,340	% △ 9.5	95,310.25	% △ 4.3	% 97.0
4月末	27,265	% △15.9	88,075.24	% △11.6	% 95.9
5月末	26,822	% △17.3	88,526.28	% △11.2	% 97.5
6月末	28,288	% △12.8	90,301.78	% △ 9.4	% 96.6
7月末	31,641	% △ 2.4	99,146.96	% △ 0.5	% 98.0
8月末	32,878	% 1.4	101,679.17	% 2.0	% 98.1
9月末	36,380	% 12.2	106,378.32	% 6.8	% 98.5
10月末	41,794	% 28.9	120,835.96	% 21.3	% 97.6
(期末) 2025年11月18日	44,486	% 37.2	127,944.65	% 28.4	% 97.4

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

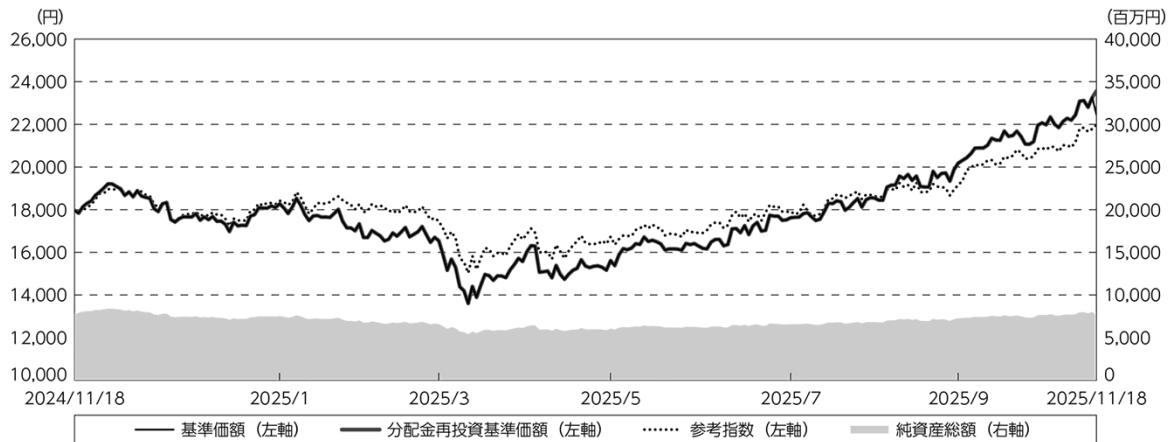
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：17,967円

期 末：22,464円 (既払分配金(税込み)：1,100円)

騰落率： 31.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2024年11月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指標は、NASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円ヘッジベース）です。参考指標は、作成期首（2024年11月18日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇)

バイオテクノロジー関連株式の価格の上昇

(下落)

為替ヘッジ取引によるコスト

<Aコース>

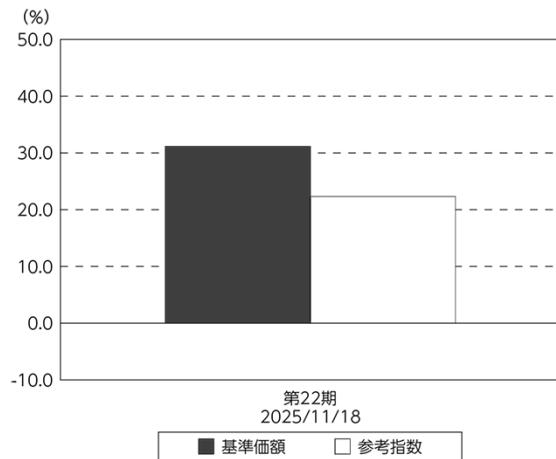
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているNASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円ヘッジベース）の22.3%の上昇に対し、基準価額は31.2%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、治験結果などを受けて株価が下落したバーテックス・ファーマシューティカルズなどをアンダーウェイト（参考指数と比べ低めの投資比率）としていたことや、良好な治験結果を発表したことで株価が大きく上昇したアビバックスなどをオーバーウェイト（参考指数と比べて高い投資比率）としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、NASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円ヘッジベース）です。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきました。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第22期	
	2024年11月19日～ 2025年11月18日	
当期分配金	1,100	
(対基準価額比率)	4.668%	
当期の収益	1,100	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	13,201	

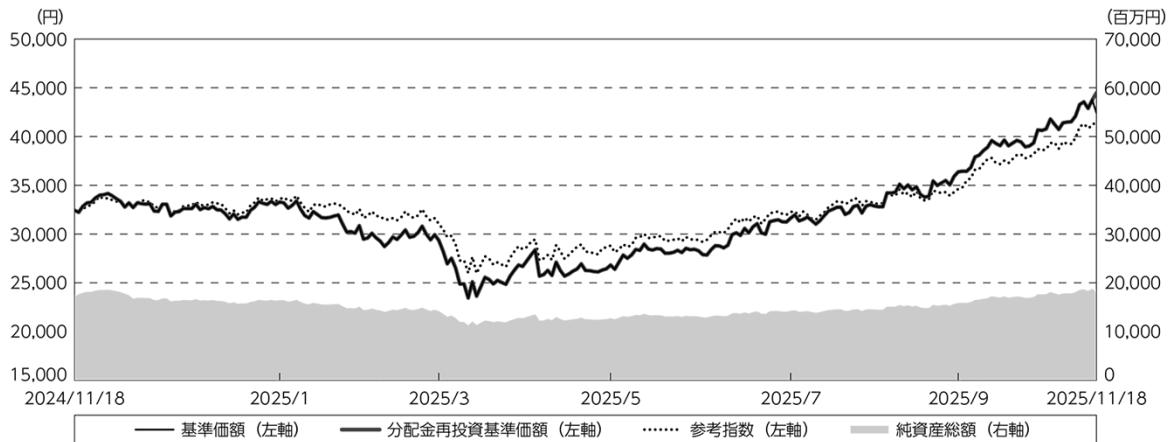
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首 : 32,433円

期 末 : 42,436円 (既払分配金(税込み): 2,050円)

騰落率 : 37.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指標は、NASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円換算ベース)です。参考指標は、作成期首(2024年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇)

バイオテクノロジー関連株式の価格の上昇

米ドルに対して円安が進んだこと

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているNASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）の28.4%の上昇に対し、基準価額は37.2%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、治験結果などを受けて株価が下落したバーテックス・ファーマシューティカルズなどをアンダーウェイト（参考指数と比べ低めの投資比率）としていたことや、良好な治験結果を発表したことで株価が大きく上昇したアビバックスなどをオーバーウェイト（参考指数と比べて高い投資比率）としていたことなどがあげられます。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきました。

○分配原資の内訳

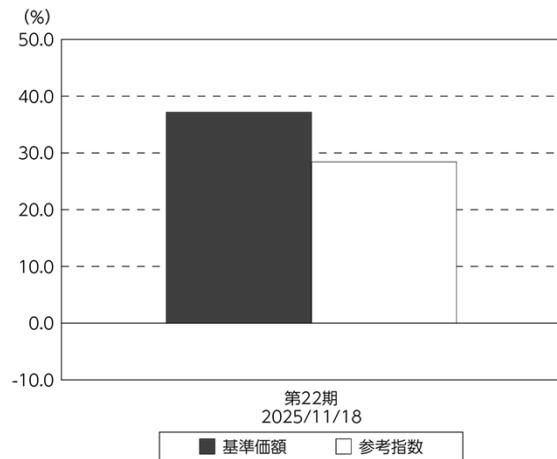
(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第22期	
	2024年11月19日～ 2025年11月18日	
当期分配金 (対基準価額比率)	2,050	4.608%
当期の収益	2,050	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	32,435	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、NASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）です。

<Aコース／Bコース>

○投資環境

期中のNASDAQ・バイオテクノロジー株指数は、トランプ米大統領の政策による逆風にさらされ軟調に推移する局面があったものの、M&A（企業の合併・買収）の動きが活発化したことや、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融緩和期待を背景に、中小型株全般が反発基調を強めしたことなどから、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、米ドルに対して円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

また、当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

マザーファンド

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業などに注目した他、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行なって参りました。
- (3) また、薬価問題への関心が高まる中、高いイノベーション（技術革新）能力と戦略的展望のある企業にも注目し、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）分析を行なった他、科学面および臨床データの評価や、未だ満たされていない医療ニーズの重要度、薬価や治療薬への患者のアクセスの妥当性などを考慮し銘柄選定を行ないました。

<Aコース／Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・投資環境

米国金利の変動やトランプ米政権の関税政策などを背景とした景気見通しの不透明感、トランプ米政権によるヘルスケア関連政策への懸念などの影響を受けて、変動が大きくなっています。なお、米国における薬価引き下げの動きについては、米大手医薬品企業と米国政府が合意に至りましたが、同様の合意が広がることで薬価に関する不透明感が後退し、幅広い投資家が医薬品セクターに再注目することが期待されます。

2023年に大型案件が多くみられたM&Aの動きは、2024年は低迷しましたが、2025年は大型案件が成立しており、回復傾向にあります。引き続き大手の医薬品企業や大手のバイオ医薬品企業が大型治療薬の特許問題に直面し、パイプラインの強化が求められていることもあります。増加傾向の継続が期待されます。引き続き、フェーズ2（臨床試験の中間段階）で良好な治験結果が示された治療薬候補を有するなど買収後のリスクの低い銘柄が注目されますが、未だ満たされていない医療ニーズの大きな分野においてパイプラインを有する銘柄も関心を集めるとみています。新薬の開発では、画期的な新薬の開発が続いており、AIの進化が、さらに開発を加速するとみています。またFDA（米食品医薬品局）が、医療ニーズが満たされていない適応症の治験については柔軟な姿勢を示していることも治療薬の開発を支援するものと考えます。さらに、資金調達については、新薬の開発が順調な企業では引き続きスムーズに進められています。引き続き米国の金融政策、マクロ経済の動向、米トランプ政権の政策動向には注視が必要と考えます。

長期的には、医薬品に関する医療費についての議論が大きく変化していることがわかります。いくつかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度（価値に基づく医療）が利用されていますが、処方薬で最大のマーケットである米国においても、従来の出来高払い方式ではなく、同様の制度を求める声は、ますます大きくなっています。医薬品企業と同様に政府、規制当局、保険業者は、医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理することができる妥協案を見つけることを必要としています。最も重要な利害関係者である患者は、破産のリスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えています。これは、治療薬の開発といった科学的側面だけでなく、ビジネスモデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった側面においてもイノベーションを生む良い機会となると考えます。さらにAIの進歩はバイオ医薬品業界のイノベーションに大きな役割を果たすことが期待されます。

<Aコース／Bコース>

・運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行わない方針です。

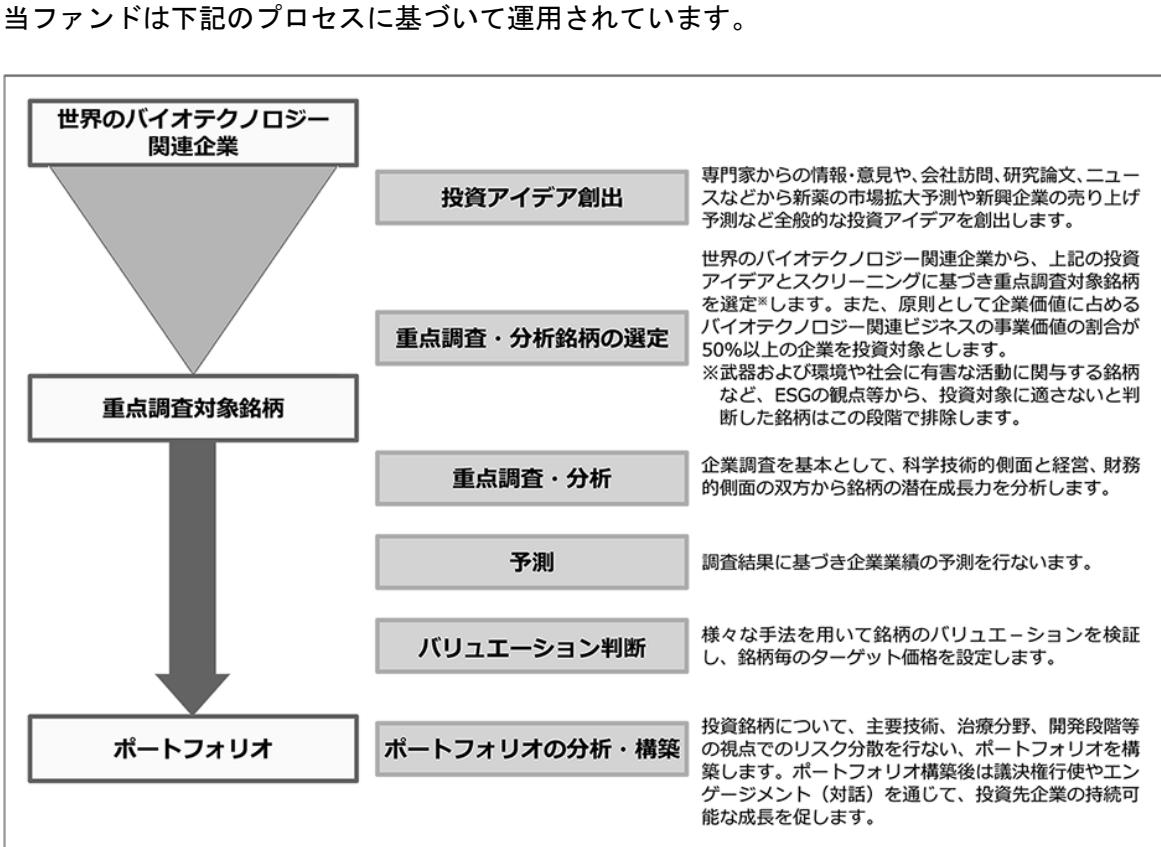
マザーファンド

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながるを考えます。綿密なファンダメンタルズ分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

<Aコース／Bコース>

◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

○運用プロセス図



* 前記の銘柄選択の視点、投資プロセス等は、バイオテクノロジー技術の発展などにより適宜見直しを行ないます。また、重点調査・分析やポートフォリオの構築にあたっては、ESGの観点からも投資銘柄の評価・分析を行ないます。

<Aコース／Bコース>

○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

☆インスメッド（米国）

①事業内容

同社はバイオ医薬品メーカーで、重度・希少疾病患者の生活発展・変換に従事しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

完治が非常に難しく致命的となりうるマイコバクテリウム・アビウムコンプレックスによる肺非結核性抗酸菌症の治療薬を有している会社であり、標準治療よりも優れた治癒率を誇る同社の治療薬により、患者の生活の質と余命が大幅に改善するだけでなく、継続的な対症療法や医師・病院への通院にかかる費用を削減することに貢献しています。また、同社は未だ満たされていない医療ニーズの高い感染症分野においても重要な役割を果たしています。

☆リジエネロン・ファーマシューティカルズ（米国）

①事業内容

同社はバイオ医薬品メーカーで、重病患者の治療を対象とする医療製品の研究開発と商品化を手掛けています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

複数の疾患領域で治療に変革をもたらした非常に革新的な企業で、特に治療しなければ失明に至る可能性のあるAMD（加齢黄斑変性症）の治療で大きな役割を果たしています。また、有効性の高い皮膚疾患の治療薬を有し、がん領域でも非常に有望なパイプラインの開発に取り組んでいます。同社の革新性は、画期的な治療薬を生み出し、大きな市場を獲得することを繰り返し示してきました。

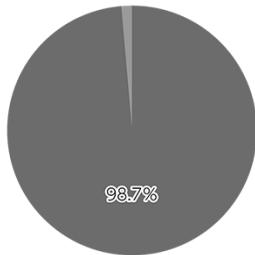
<Aコース／Bコース>

○当ファンドにおけるサステナブル投資

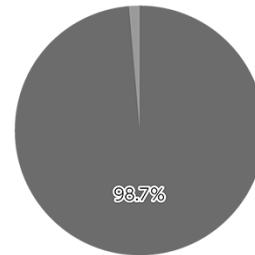
ファンドでは、世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式への投資を通じて、人々の健康をサポートする企業群へ投資を行ないます。

※原則として企業価値に占めるバイオテクノロジー関連ビジネスの事業価値の割合が50%以上の企業を投資対象とします。2025年9月末時点、ポートフォリオにおける同銘柄への投資比率は純資産総額の98.7%、ポートフォリオの企業価値に占めるバイオテクノロジー関連企業の事業価値割合は、98.7%でした。

バイオテクノロジー関連企業への投資比率



バイオテクノロジー関連企業の事業価値割合



また、ポートフォリオでは国際的な規範から大きく外れる銘柄や、兵器に関する銘柄へは投資していません。

(出所) ピクテ

○スチュワードシップ活動

ファンドでは、エンゲージメントと議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株式利益を尊重した経営を行なうよう求めます。

野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。

ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針/スチュワードシップ活動」にある「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン」の「スチュワードシップの活動はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

野村アセットマネジメントの議決権行使の詳細は、以下のサイト「野村アセットマネジメントの責任投資」にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

<Aコース>

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年11月19日～2025年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 375	% 2.090	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(197)	(1.100)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(158)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(20)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	17	0.094	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(17)	(0.094)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(d) その他の費用	6	0.031	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(5)	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	398	2.216	
期中の平均基準価額は、17,930円です。			

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

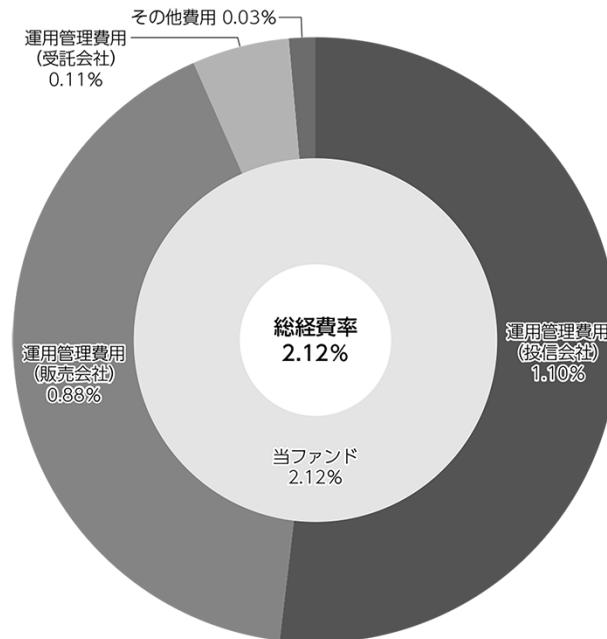
*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2024年11月19日～2025年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 172,397	千円 1,590,500	千口 377,540	千円 3,793,400

＊単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年11月19日～2025年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	44,222,300千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	21,482,958千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.05

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月19日～2025年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月18日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 779,460	千口 574,317	千円 7,752,824

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Aコース>

○投資信託財産の構成

(2025年11月18日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千円 7,752,824	% 91.8
コール・ローン等、その他	695,607	8.2
投資信託財産総額	8,448,431	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（26,621,309千円）の投資信託財産総額（27,214,919千円）に対する比率は97.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.34円、1デンマーククローネ=24.10円、1ユーロ=179.98円、1香港ドル=19.98円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月18日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 15,649,131,033
コール・ローン等	279,922,923
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	7,752,824,285
未収入金	7,616,380,073
未収利息	3,752
(B) 負債	7,926,593,721
未払金	7,447,326,223
未払収益分配金	378,151,124
未払解約金	29,534,235
未払信託報酬	71,469,352
その他未払費用	112,787
(C) 純資産総額(A-B)	7,722,537,312
元本	3,437,737,496
次期繰越損益金	4,284,799,816
(D) 受益権総口数	3,437,737,496口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,464円

(注) 期首元本額は4,316,168,163円、期中追加設定元本額は140,177,165円、期中一部解約元本額は1,018,607,832円、1口当たり純資産額は2,2464円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額165,015,312円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2024年11月19日～2025年11月18日)

項目	当期
(A) 配当等収益	456,780
受取利息	456,780
(B) 有価証券売買損益	2,066,132,421
売買益	3,571,647,451
売買損	△1,505,515,030
(C) 信託報酬等	△144,896,454
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,921,692,747
(E) 前期繰越損益金	△1,135,186,767
(F) 追加信託差損益金	3,876,444,960
(配当等相当額)	(4,129,810,089)
(売買損益相当額)	(△ 253,365,129)
(G) 計(D+E+F)	4,662,950,940
(H) 収益分配金	△ 378,151,124
次期繰越損益金(G+H)	4,284,799,816
追加信託差損益金	3,876,444,960
(配当等相当額)	(4,129,869,082)
(売買損益相当額)	(△ 253,424,122)
分配準備積立金	408,354,856

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金あるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

(注) 分配金の計算過程（2024年11月19日～2025年11月18日）は以下の通りです。

項 目	当期
	2024年11月19日～ 2025年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	20,122,480円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	442,486,130円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,129,869,082円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	323,897,370円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,916,375,062円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	14,301円
g. 分配金	378,151,124円
h. 分配金(1万口当たり)	1,100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	1,100円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>

<Bコース>

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年11月19日～2025年11月18日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	円 669 (352) (282) (35)	% 2.090 (1.100) (0.880) (0.110)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料 （株式）	31 (31)	0.095 (0.095)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 （株式）	0 (0)	0.001 (0.001)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他の費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	9 (8) (1) (0)	0.029 (0.026) (0.003) (0.000)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	709	2.215	
期中の平均基準価額は、32,019円です。			

＊期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

＊売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

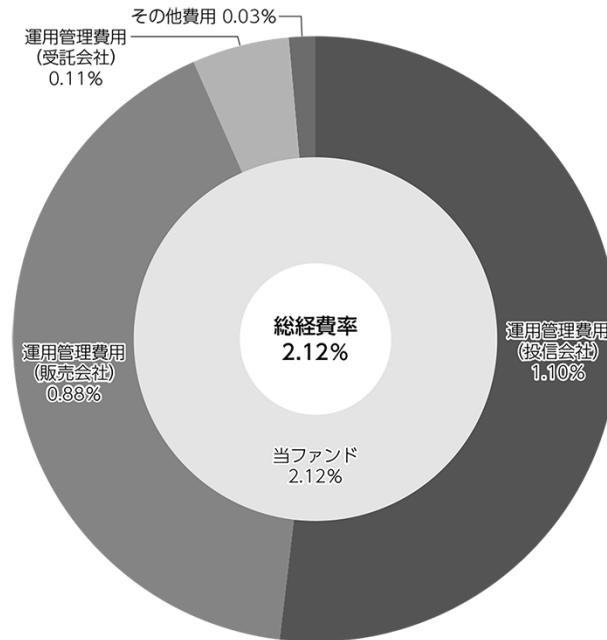
＊各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2024年11月19日～2025年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 112,241	千円 1,063,800	千口 530,389	千円 5,301,500

＊単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年11月19日～2025年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	44,222,300千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	21,482,958千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.05

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月19日～2025年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月18日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 1,753,330	千口 1,335,183	千円 18,023,902

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2025年11月18日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	18,023,902	93.3%
コール・ローン等、その他	1,292,269	6.7%
投資信託財産総額	19,316,171	100.0%

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（26,621,309千円）の投資信託財産総額（27,214,919千円）に対する比率は97.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.34円、1デンマーククローネ=24.10円、1ユーロ=179.98円、1香港ドル=19.98円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月18日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	19,316,171,513
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	272,965,163
未収入金	18,023,902,691
未収利息	1,019,300,000
未利回り	3,659
(B) 負債	1,094,412,527
未払収益分配金	880,261,142
未払解約金	58,311,908
未払信託報酬	155,593,870
その他未払費用	245,607
(C) 純資産総額(A-B)	18,221,758,986
元本	4,293,956,793
次期繰越損益金	13,927,802,193
(D) 受益権総口数	4,293,956,793口
1万口当たり基準価額(C/D)	42,436円

(注) 期首元本額は5,313,367,657円、期中追加設定元本額は322,499,247円、期中一部解約元本額は1,341,910,111円、1口当たり純資産額は4,2436円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額165,015,312円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2024年11月19日～2025年11月18日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	646,260
(B) 有価証券売買損益	646,260
売買益	5,453,069,888
売買損	5,775,937,461
(C) 信託報酬等	△ 322,867,573
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 313,550,243
(E) 前期繰越損益金	5,140,165,905
(F) 追加信託差損益金	2,558,313,853
(配当等相当額)	7,109,583,577
(売買損益相当額)	(4,849,751,297)
(G) 計(D+E+F)	(2,259,832,280)
(H) 収益分配金	14,808,063,335
次期繰越損益金(G+H)	△ 880,261,142
追加信託差損益金	13,927,802,193
(配当等相当額)	7,109,583,577
(売買損益相当額)	(4,849,999,641)
分配準備積立金	(2,259,583,936)
	6,818,218,616

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金あるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程（2024年11月19日～2025年11月18日）は以下の通りです。

項 目	当期
	2024年11月19日～ 2025年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	45,068,449円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	5,095,097,456円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,109,583,577円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,558,313,853円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	14,808,063,335円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	34,485円
g. 分配金	880,261,142円
h. 分配金(1万口当たり)	2,050円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	2,050円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

運用報告書

第22期（決算日2025年11月18日）

作成対象期間（2024年11月19日～2025年11月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	参考指數		株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰落	中率			
18期(2021年11月18日)	円 71,089	% 8.1	78,848.40	20.6	97.9	— 44,816
19期(2022年11月18日)	74,228	4.4	85,609.91	8.6	94.4	— 36,011
20期(2023年11月20日)	73,712	△ 0.7	82,790.34	△ 3.3	95.9	— 25,946
21期(2024年11月18日)	96,179	30.5	99,644.68	20.4	98.3	— 24,360
22期(2025年11月18日)	134,992	40.4	127,944.65	28.4	98.5	— 25,776

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指數（＝ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース））は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数（US\$ベース）を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数值を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。

(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

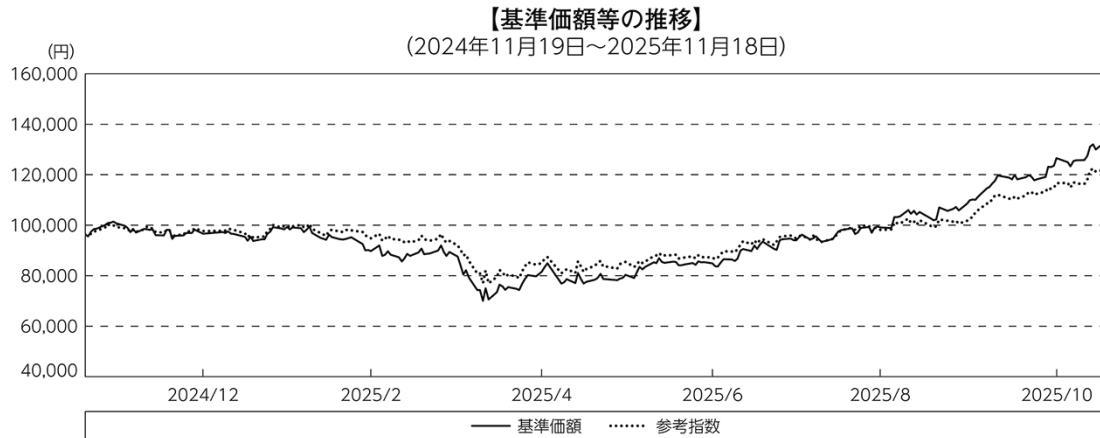
年月日	基準価額	参考指數		株組入比率	株先物比率
		騰落率	中率		
(期首) 2024年11月18日	円 96,179	% —	99,644.68	% —	% 98.3
11月末	100,683	4.7	102,850.07	3.2	97.0
12月末	96,593	0.4	101,234.36	1.6	96.8
2025年1月末	99,105	3.0	103,191.58	3.6	98.5
2月末	89,718	△ 6.7	98,178.42	△ 1.5	97.6
3月末	87,594	△ 8.9	95,310.25	△ 4.3	97.1
4月末	81,517	△ 15.2	88,075.24	△ 11.6	95.8
5月末	80,353	△ 16.5	88,526.28	△ 11.2	98.4
6月末	84,927	△ 11.7	90,301.78	△ 9.4	97.4
7月末	95,225	△ 1.0	99,146.96	△ 0.5	98.6
8月末	99,124	3.1	101,679.17	2.0	98.4
9月末	109,918	14.3	106,378.32	6.8	98.7
10月末	126,552	31.6	120,835.96	21.3	97.8
(期末) 2025年11月18日	134,992	40.4	127,944.65	28.4	98.5

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、NASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇)

バイオテクノロジー関連株式の価格の上昇

米ドルに対して円安が進んだこと

○投資環境

期中のNASDAQ・バイオテクノロジー株指数は、トランプ米大統領の政策による逆風にさらされ軟調に推移する局面があったものの、M&A（企業の合併・買収）の動きが活発化したことや、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融緩和期待を背景に、中小型株全般が反発基調を強めたことなどから、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、米ドルに対して円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

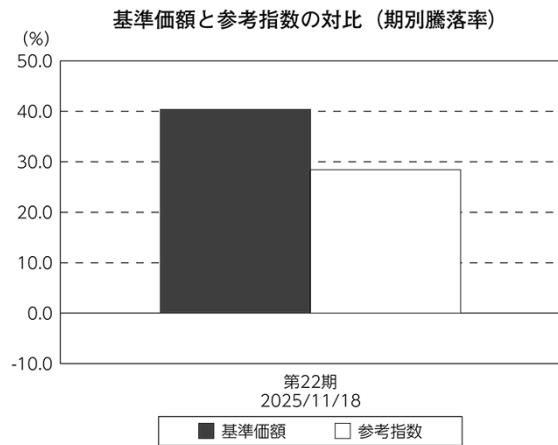
- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業などに注目した他、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行なって参りました。
- (3) また、薬価問題への関心が高まる中、高いイノベーション（技術革新）能力と戦略的展望のある企業にも注目し、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）分析を行なった他、科学面および臨床データの評価や、未だ満たされていない医療ニーズの重要度、薬価や治療薬への患者のアクセスの妥当性、などを考慮し銘柄選定を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としているNASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）の28.4%の上昇に対し、基準価額は40.4%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、治験結果などを受けて株価が下落したバーテックス・ファーマシューティカルズなどをアンダーウェイト（参考指標と比べ低めの投資比率）としていたことや、良好な治験結果を発表したことで株価が大きく上昇したアビバックスなどをオーバーウェイト（参考指標と比べて高い投資比率）としていたことなどがあげられます。



(注) 参考指標は、NASDAQ・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

・投資環境

米国金利の変動やトランプ米政権の関税政策などを背景とした景気見通しの不透明感、トランプ米政権によるヘルスケア関連政策への懸念などの影響を受けて、変動が大きくなっています。なお、米国における薬価引き下げの動きについては、米大手医薬品企業と米国政府が合意に至りましたが、同様の合意が広がることで薬価に関する不透明感が後退し、幅広い投資家が医薬品セクターに再注目することが期待されます。

2023年に大型案件が多くみられたM&Aの動きは、2024年は低迷しましたが、2025年は大型案件が成立しており、回復傾向にあります。引き続き大手の医薬品企業や大手のバイオ医薬品企業が大型治療薬の特許問題に直面し、パイプラインの強化が求められていることもあります。増加傾向の継続が期待されます。引き続き、フェーズ2（臨床試験の中間段階）で良好な治験結果が示された治療薬候補を有するなど買収後のリスクの低い銘柄が注目されますが、未だ満たされていない医療ニーズの大きな分野においてパイプラインを有する銘柄も関心を集めるとみています。新薬の開発では、画期的な新薬の開発が続いており、AIの進化が、さらに開発を加速するとみています。またFDA（米食品医薬品局）が、医療ニーズが満たされていない適応症の治験については柔軟な姿勢を示していることも治療薬の開発を支援するものと考えます。さらに、資金調達については、新薬の開発が順調な企業では引き続きスムーズに進められています。引き続き米国の金融政策、マクロ経済の動向、米トランプ政権の政策動向には注視が必要と考えます。

長期的には、医薬品に関連する医療費についての議論が大きく変化していることがわかります。いくつかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度（価値に基づく医療）が利用されていますが、処方薬で最大のマーケットである米国においても、従来の出来高払い方式ではなく、同様の制度を求める声は、ますます大きくなっています。医薬品企業と同様に政府、規制当局、保険業者は、医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理することができる妥協案を見つけることを必要としています。最も重要な利害関係者である患者は、破産のリスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えています。これは、治療薬の開発といった科学的側面だけでなく、ビジネスモデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった側面においてもイノベーションを生む良い機会となると考えます。さらにAIの進歩はバイオ医薬品業界のイノベーションに大きな役割を果たすことが期待されます。

・運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年11月19日～2025年11月18日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 91 (91)	% 0.095 (0.095)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	25 (25) (0)	0.026 (0.026) (0.000)	(c) その他の費用=期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	117	0.122	
期中の平均基準価額は、95,942円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年11月19日～2025年11月18日)

株式

		買付		売付	
外 国	株数	金額	株数	金額	
	百株	千米ドル	百株	千米ドル	
	27,109	123,773	30,967	159,847	
	264	千デンマーククローネ	631	千デンマーククローネ	
		13,531		38,405	
ユーロ		千ユーロ		千ユーロ	
フランス		—	—	338	2,137

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年11月19日～2025年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	44,222,300千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	21,482,958千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.05

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月19日～2025年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2025年11月18日現在)

○組入資産の明細

外国株式

銘 柄	期首(前期末) 株 数	当 期 末			業 種 等	
		評 価 額				
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)	百株	百株	千米 ドル	千円		
ABIVAX SA-ADR	—	34	391	60,873	バイオテクノロジー	
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	—	366	881	136,869	バイオテクノロジー	
SPYRE THERAPEUTICS INC	505	551	1,343	208,760	バイオテクノロジー	
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	203	72	3,350	520,455	バイオテクノロジー	
AMGEN INC	141	—	—	—	バイオテクノロジー	
AMICUS THERAPEUTICS INC	—	2,427	2,286	355,259	バイオテクノロジー	
APOGEE THERAPEUTICS INC	—	201	1,307	203,146	バイオテクノロジー	
ARCELLX INC	—	191	1,729	268,585	バイオテクノロジー	
ARGENX SE-ADR	169	98	9,189	1,427,449	バイオテクノロジー	
ARROWHEAD PHARMACEUTICALS INC	—	504	2,024	314,464	バイオテクノロジー	
AVIDITY BIOSCIENCES INC	408	—	—	—	バイオテクノロジー	
AXSOME THERAPEUTICS INC	—	191	2,792	433,797	医薬品	
BIOGEN INC	—	411	6,772	1,052,034	バイオテクノロジー	
BIOAGE LABS INC	225	—	—	—	医薬品	
BLUEPRINT MEDICINES CORP	542	—	—	—	バイオテクノロジー	
BRIDGEBio PHARMA INC	859	495	3,317	515,330	バイオテクノロジー	
CELLDEX THERAPEUTICS INC	581	535	1,392	216,283	バイオテクノロジー	
CG ONCOLOGY INC	254	834	3,444	535,004	バイオテクノロジー	
CRINETICS PHARMACEUTICALS INC	486	869	3,784	587,924	医薬品	
CYTOKINETICS INC	937	509	3,410	529,776	バイオテクノロジー	
DAY ONE BIOPHARMACEUTICALS	2,027	1,421	1,256	195,201	バイオテクノロジー	
DISC MEDICINE INC	73	223	2,005	311,599	バイオテクノロジー	
EDGEWISE THERAPEUTICS INC	178	—	—	—	医薬品	
89BIO INC	2,189	—	—	—	バイオテクノロジー	
ENLIVEN THERAPEUTICS INC	954	798	1,737	269,959	医薬品	
GENMAB A/S -SP ADR	—	532	1,618	251,421	バイオテクノロジー	
GILEAD SCIENCES INC	840	209	2,594	403,025	バイオテクノロジー	
IDEAYA BIOSCIENCES INC	1,279	532	1,774	275,659	バイオテクノロジー	
IMMUNOVANT INC	715	241	586	91,058	バイオテクノロジー	
INCYTE CORP	—	498	5,188	805,981	バイオテクノロジー	
INSMED INC	1,049	475	9,394	1,459,305	バイオテクノロジー	
INTRA-CELLULAR THERAPIES INC	824	—	—	—	医薬品	
IONIS PHARMACEUTICALS INC	—	822	6,022	935,521	バイオテクノロジー	
JANUX THERAPEUTICS INC	—	187	538	83,726	バイオテクノロジー	
KRYSTAL BIOTECH INC	56	98	2,050	318,578	バイオテクノロジー	
KYMERA THERAPEUTICS INC	—	141	905	140,587	バイオテクノロジー	
MADRIGAL PHARMACEUTICALS INC	87	92	5,120	795,464	バイオテクノロジー	
MINERALYS THERAPEUTICS INC	—	457	2,024	314,533	バイオテクノロジー	
MIRUM PHARMACEUTICALS INC	499	340	2,458	381,931	バイオテクノロジー	
MOONLAKE IMMUNOTHERAPEUTICS	184	—	—	—	バイオテクノロジー	
NATERA INC	115	—	—	—	バイオテクノロジー	
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	303	340	4,890	759,759	バイオテクノロジー	
NUVALENT INC-A	379	133	1,437	223,281	バイオテクノロジー	
NURIX THERAPEUTICS INC	1,080	1,146	1,466	227,832	バイオテクノロジー	
OLEMA PHARMACEUTICALS INC	1,069	533	454	70,576	バイオテクノロジー	
PTC THERAPEUTICS INC	—	450	3,409	529,582	バイオテクノロジー	
PEPGEN INC	—	873	467	72,588	バイオテクノロジー	
PLIANT THERAPEUTICS INC	889	—	—	—	医薬品	

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)					
PRAXIS PRECISION MEDICINES I	百株	百株	千米ドル	千円	
PROTAGONIST THERAPEUTICS INC	—	57	1,141	177,277	バイオテクノロジー
REGENERON PHARMACEUTICALS	—	281	2,383	370,223	バイオテクノロジー
REVOLUTION MEDICINES INC	67	129	9,097	1,413,216	バイオテクノロジー
RHYTHM PHARMACEUTICALS INC	126	776	5,365	833,493	バイオテクノロジー
ROCKET PHARMACEUTICALS INC	184	322	3,242	503,724	バイオテクノロジー
SAREPTA THERAPEUTICS INC	764	—	—	—	バイオテクノロジー
SCHOLAR ROCK HOLDING CORP	517	—	—	—	バイオテクノロジー
SELENO THERAPEUTICS INC	—	743	2,712	421,409	バイオテクノロジー
SPRINGWORKS THERAPEUTICS INC	534	205	971	150,972	バイオテクノロジー
SUMMIT THERAPEUTICS INC	1,233	—	—	—	バイオテクノロジー
TERNS PHARMACEUTICALS INC	—	371	628	97,687	バイオテクノロジー
TG THERAPEUTICS INC	—	1,307	3,341	519,022	医薬品
TOURMALINE BIO INC	1,933	796	2,444	379,669	バイオテクノロジー
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	265	—	—	—	バイオテクノロジー
UNITED THERAPEUTICS CORP	417	463	1,507	234,192	バイオテクノロジー
VAXCYTE INC	47	154	7,313	1,136,128	バイオテクノロジー
VERA THERAPEUTICS INC	575	536	2,595	403,180	バイオテクノロジー
VERTEX PHARMACEUTICALS	503	815	2,402	373,134	バイオテクノロジー
VIKING THERAPEUTICS INC	101	—	—	—	バイオテクノロジー
VIRIDIAN THERAPEUTICS INC	764	450	1,721	267,466	バイオテクノロジー
XENON PHARMACEUTICALS INC	688	543	1,575	244,753	バイオテクノロジー
Y-MABS THERAPEUTICS INC	656	283	1,150	178,778	バイオテクノロジー
ALKERMES PLC	512	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOHAVEN LTD	—	546	1,601	248,837	バイオテクノロジー
KINIKSA PHARMACEUTICALS INTE	180	—	—	—	バイオテクノロジー
MERUS NV	750	474	1,966	305,405	バイオテクノロジー
NEWAMSTERDAM PHARMA CO NV	583	—	—	—	バイオテクノロジー
	891	450	1,737	269,923	バイオテクノロジー
小計	株数	・	金額	32,417	28,558
	銘柄数	<比率>		54	58
					<96.3%>
(デンマーク)					
ZEALAND PHARMA A/S	366	—	千デンマーククローネ	—	バイオテクノロジー
小計	株数	・	金額	366	—
	銘柄数	<比率>		1	—
					<-%>
(ヨーロ…フランス)					
ABIVAX SA	662	323	千ユーロ	3,147	566,545
ユ一口計	株数	・	金額	662	323
	銘柄数	<比率>		1	1
					<2.2%>
合計	株数	・	金額	33,446	28,882
	銘柄数	<比率>		56	59
					<98.5%>

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものであります。

*邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各別銘柄評価額の比率。

*株数・評価額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

(2025年11月18日現在)

○投資信託財産の構成

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 25,378,233	% 93.3
コール・ローン等、その他	1,836,686	6.7
投資信託財産総額	27,214,919	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(26,621,309千円)の投資信託財産総額(27,214,919千円)に対する比率は97.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.34円、1デンマーククローネ=24.10円、1ユーロ=179.98円、1香港ドル=19.98円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月18日現在)

項目	当期末
(A) 資産	
コール・ローン等	28,267,171,906
株式(評価額)	1,836,677,984
未収入金	25,378,233,564
未収利息	1,052,252,400
	7,958
(B) 負債	2,490,505,240
未払金	1,056,205,240
未払解約金	1,434,300,000
(C) 純資産総額(A-B)	25,776,666,666
元本	1,909,500,339
次期繰越損益金	23,867,166,327
(D) 受益権総口数	1,909,500,339口
1万口当たり基準価額(C/D)	134,992円

(注) 期首元本額は2,532,790,941円、期中追加設定元本額は284,639,223円、期中一部解約元本額は907,929,825円、1口当たり純資産額は13,4992円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 1,335,183,025円
・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 574,317,314円

○損益の状況 (2024年11月19日～2025年11月18日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 76,174,734
受取配当金	47,463,051
受取利息	16,829,071
その他収益金	11,882,612
(B) 有価証券売買損益	7,786,661,819
売買益	11,146,693,852
売買損	△ 3,360,032,033
(C) 保管費用等	△ 5,684,916
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,857,151,637
(E) 前期繰越損益金	21,827,324,088
(F) 追加信託差損益金	2,369,660,777
(G) 解約差損益金	△ 8,186,970,175
(H) 計(D+E+F+G)	23,867,166,327
次期繰越損益金(H)	23,867,166,327

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。<変更適用日：2025年4月1日>